

令和 7 年度 第 9 回一般社団法人三重県作業療法士会定例理事会 議事録

日時：令和 8 年 1 月 9 日（金）19:00～20:42

場所：WEB 開催

出席者：佐藤明俊、宮坂裕之、山本泰雄、牧野有華、松本周二、上野平圭祐、富中真悟、伊藤正敏、渡邊誠（理事 9 名）

監事：橋本昌弘、田中一彦（監事 2 名）

書記：松本周二

部長等：石崎健（規約表彰委員長）、濱口真（教育部）、浅沼慎也（福利部部長）

中村清美（倫理委員会委員長）、山口英嗣（発達支援推進委員会委員長）

栗山翼（啓発部部長代理）、萩野創（広報部部長代理）

<協議事項>

1. 入退会者

退会者 3 名

承認

2. 後援・共催依頼

第 21 回三重県臨床工学技士会呼吸療法セミナー

日時：令和 8 年 3 月 4 日（水）18:00～21:00

場所：WEB 開催

承認

第 6 回 日本小児リハビリテーション医学会学術集会

保留

3. 東海北陸リーダー養成研修

日時：令和 8 年 2 月 14 日（土）9:50～15:15 終了予定

場所：WEB 開催

テーマ：

「リーダーとしての基礎知識を学び、組織で活かすための仕掛けをつくる」

講師：太田 瞳美氏（一般社団法人日本作業療法士会 倫理委員会 委員長）

対象：下記のいずれかの条件を満たす会員

- ・各県士会の役員を務めている
- ・作業療法士として 5 年以上の実務経験がある
- ・各県士会が推薦する者

※過去に本研修に参加された経験のある会員も参加可能です。

参加人数：5 名

申し込み締め切り：令和 8 年 1 月 16 日（金）

先月の理事会で報告済み。年明けに各部へ推薦者の有無をメールで確認。

1 名申し込みあり（福利部長の浅沼慎也氏）

研修は4名参加が必須のため、追加の推薦を各部へ依頼。

研修の在り方に関する意見

- ・毎年参加者集めに苦労している現状あり、研修の見直しを会長会議で提案してほしいとの意見。ただし企画側への配慮も必要との前置きあり。（山本副会長）
- ・来年度の岐阜県開催で「2巡目」が終了。ここを区切りに継続の是非を検討する案を提示。「リーダー＝将来の理事・会長候補」というイメージが参加のハードルを上げている可能性を指摘。（牧野理事）
- ・名称変更などで敷居を下げる案も検討。

石川県の前会長らとも意見交換し、継続の方向性を会長会議で協議予定。

今年度は2巡目の最終年度のため、現行通り実施したい意向。（佐藤会長）

- ・研修は組織率低下への危機感から、OT協会ではなく東海北陸ブロックで自主的に始まった経緯を説明。リーダー育成の必要性は今も変わらないとし、取り組み自体は継続してほしいとの意見。（橋本監事）

「組織マネジメントとリーダーの役割」の講演を予定。

Web開催のため交流が難しい点を踏まえ、今回は同じ県の参加者同士で三重県内のみでのグループワークを実施予定。

保留

4. 士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会の推薦

主催：日本作業療法士協会 地域社会振興部 地域支援事業課 認知症対応班

日時：令和8年1月31日（土）13:00～16:00

開催方法：WEB開催

選任者：田中 佐知氏（介護老人保健施設あのう）

工藤 元貴氏（デイアービスセンター渚園）

承認

5. 地域支援事業参画のための士会マネジメントに関するQ&A掲載について

- ・日本作業療法士協会より、地域支援事業参画に関するQ&Aページの更新作業の一環として、「市町担当者の役割」について三重県の取り組みを掲載したいとの依頼がメールで届いた。

・三重県の提出内容

三重県では、市町担当者の役割を整理した「チェックリスト」を作成している。これは、協会が示す担当者の役割を、三重県向けに分かりやすく再構成したもの。年度末に「どこまで実施できたか」を確認するアンケートも実施している。

・掲載依頼の背景

協会側から「三重県の取り組みはぜひ掲載したい」と評価を受けた。

他県への共有・参考資料として活用したい意向がある。

承認

6. 規約の改訂について

- 前回提案した以下の項目は承認済み

会員手続きに「LINE 公式アカウントでの対応」を追加

常設委員会の項目追加（倫理委員会・発達支援推進委員会）

残課題：会員証の代替手段（デジタル会員証）をどうするか → 決定次第、規約の

第6条「会員の証明」を改定可能。

保留

7. デジタル会員証導入に向けての調査（広報部）

＜調査した2社＞

1. リニー社

完成度高いが、年間100万円規模 → 導入は困難。

2. Lステップ社

LINE公式アカウントを拡張する外部サービス。

費用：スタートプラン：月5,000円（年間6万円）

プロプラン：月32,000円

現行の紙会員証（印刷・郵送費：約9万円/年）よりコスト削減可能。

・仕組みの概要

LINE上で会員がフォーム入力（氏名・協会番号など）。

管理側が「会費支払い済み」などのタグ付けを行う。

タグに応じて、該当者にのみデジタル会員証を表示可能。

振込機能などもあるが、今回は会員証機能のみの利用を想定。

技術的には導入可能（Lステップのスタートプラン）

月額5,000円で導入可能

会員証表示は「タグ付け」で制御

会費納入者への自動通知・未納者への催促も可能

研修会の支払い管理など副次的メリットも大きい

初年度はタグ付け作業が大変だが、以降は毎年の更新作業のみ

意見：全会員が登録するとは限らない

① LINE登録しない会員が一定数出る②スマホを使わない人も少数ながら存在

③「全員登録」を前提にすると運用が破綻する可能性がある

現行規約は「会員証を発行する」と明記（石崎規約表彰委員長）

・デジタル会員証に一本化するなら、規約の文言を変更する必要がある

ただし、紙とデジタルの併用は運用負担が大きく非現実的

1案：「会員証は、原則としてデジタル形式により発行する。デジタル会員証の利用が困難な会員については、別途事務局が定める方法により証明を行う。」

メリット

- ・全員登録を強制しなくてよい
- ・紙の会員証を完全に廃止しなくてもよい
- ・運用負担が最小限
- ・規約上も矛盾がない

2案「紙の会員証を完全廃止し、デジタル会員証を義務化する」

メリット

管理が最もシンプル

デジタル化のメリットを最大化できる

デメリット

全員登録が必要

登録しない会員への対応が難しい

現実的には導入初年度の負担が大きい

※導入時期の問題

2月で決まらない場合、4月実装は難しい

3月決定 → 来年度からの運用が現実的

次回理事会で検討

1. 会員証を今後どう扱うか (廃止 or デジタル化 or 併用)

廃止するなら規約改定

デジタル化するなら LINE 登録を必須にするかどうか

併用すると二重管理が発生する

2. LINE 登録を“義務”にするか“任意”にするか

義務 → 管理は楽、反発が出る

任意 → 二重管理が確定、運用が複雑化

3. 会費納入確認の運用方法をどうするか

現行の銀行引き落としを維持するか

LINE Pay 等の導入可能性

財務の負担軽減をどう実現するか

保留

<報告事項>

1. 教育部より

(1)令和7年度現職者選択研修 第2回 MTDLP 基礎研修

日時：令和7年12月14日（日）

会場：WEB開催

時間：9:00～17:00

参加者：11名

(2) 令和7年度第3回現職者共通研修

日時：令和7年12月21日（日）

会場：WEB開催

時間：9：20～15：00

内容：「実践のための作業療法研究」

講師 宮坂裕之 氏（藤田医科大学七栗記念病院）

「作業療法における協業・後輩育成」

講師 山中愛弓 氏（小山田記念温泉病院）

「事例検討」「事例報告」

参加者：20名

2. 福利部より

<おやつタウン交流会について>

ファミリー交流会（おやつタウン）企画

開催日：令和8年2月22日（日）

参加費：

入園料：大人2,500円／子ども2,200円 → 補助により1人1,000円負担

体験参加希望者は追加1,000円

予算上の上限：40名

申込：チラシQRコードより。締切は1週間前。

3. 三重県作業療法士連盟設立について

・発起人による設立準備を開始

先月の理事会で「連盟設立を進める」方針が決定。

発起人（5名）は以下の通りとなる

橋本監事、佐藤会長、田中監事、大塚理事、松本理事

今後、規約案・設立趣意書などの準備を開始。

進捗は随時理事会へ報告予定。

4. 規約表彰委員会より

令和7年度組織図について

常設委員会に倫理委員会・発達支援推進委員会を追加。

障害者スポーツ推進委員会：期限を「今年度開始から2年間」に更新。

40周年記念式典実行委員会：今年度末までの期限で掲載。

組織図はすでに広報へ掲載依頼済み。

40周年記念実行委員会は令和8年度には削除されるため、組織図から外れる。

令和8年度の組織図は、特設委員会の更新のみで対応可能。

総会後に第38回学会関連の委員会が追記される見込み。

事前に共有しておけば、4月1日にスムーズに切り替え可能との確認。

5. 【県長寿介護課】三重県認知症施策推進計画（中間案）に対する意見募集について

・意見募集期間

令和7年12月12日（金）から令和8年1月13日（火）までの33日間となっているために、地域リハビリテーション部を中心に意見を募り事務局でまとめて意見提出

前回、理事へ意見提出を依頼したが、現時点では意見未提出。

地域リハ部（伊藤）より、改めて班員へ確認依頼済み。

締切：1月13日

→ 伊藤地域リハ部長より取りまとめ後、事務局が県へ提出予定。

6. 山口発達支援推進委員長より

・県との協議内容（五歳児健診事業）

県子ども福祉部・子どもの育ち支援課（母子保健班）と面談。

国の方針として「令和10年までに県内で五歳児健診を包括的に実施」が示されている。

現在の実施状況：

実施中：鈴鹿・伊勢・桑名・亀山

昨年度より：いなべ・度会・名張・四日市

令和8年度より：鳥羽・志摩・美浜・熊野などが参加予定

自治体ごとに運用が異なり、統一的なガイドラインが未整備。

OTとしても、人員・時間・報酬などの基準が不明確で動きにくい状況。

モデル地域を設定して進める案を県へ提案。

今後、モデル地域選定や派遣依頼があれば理事会へ隨時報告予定。

7. 財務部より

・年間報酬の口座情報提出

一部の部局で未提出のため、早急な提出を依頼。

8. 三重県学会（第36回）での研修活動広報

・参加希望部局：教育部・学術部・啓発部の3部局。

追加希望があれば、締切後でも対応可能。

9. 運転と作業療法委員会（副会長・宮坂）

改造車の見学会

日時：令和 8 年 1 月 31 日（土）9：30～11：45

会場：三重県身体障害者総合福祉センター大研修室

参加希望者は想定より少なく、現時点で 6 名。

参加枠に余裕があるため、理事へ参加協力を呼びかけ。

次回理事会日程

拡大理事会：令和 8 年 2 月 13 日（金）19：30～

場所：鈴鹿厚生病院 作業療法棟